

平成25年度
福祉教育推進事業
私にもできること運動

ちょボラカード
活動報告書



～小さな思いやりから、やさしさあふれる新見市に～

社会福祉法人

新見市社会福祉協議会

～ はじめに ～

「私にもできること運動」は、学童期からボランティア活動に興味を持っていただき、積極的に「私にもできること」を見つけ、取り組むことで、思いやりやボランティア意識を育成することを目的としています。

今年は市内 6 校(西方小、上市小、千屋小、刑部小、神代小、本郷小)、218 名の児童のみなさんに夏休みを利用して、「ちょボラ」に取り組んでもらいました。

◆ ちょボラとは…

ちょボラとは「ちょっとしたボランティア」の略で、ボランティア団体に入ったり、被災地に行くといった大がかりなものではなく、日常の中で出来るちょっとしたボランティアのことです。



ちょボラの前に…



出前ボランティア教室を実施しました

西方小、上市小、千屋小、神代小にて、ちょボラの取り組み方やボランティアについての説明を行う、「出前ボランティア教室」を行いました。

みんな真剣に耳を傾け、ボランティアや助け合うことの大切さについて学んでいただきました。

出前ボランティア教室での意見

- ボランティアやちょボラは「助けてあげる」ではなくて、「助けあう」という気持ちで取り組むことが大切なんだと思いました。
- 誰かに助けられた人が、今度は別の人を助けるよう心がけることが、思いやりの心になるのではないかと思います。
- 積極的なあいさつを心がけたいと思いました。最初は自分 1 人の取り組みでも、どんどん広がれば、新見市のため日本のためになるから続けたいと思いました。



活動集計

(こんなちょボラをしたよ)

◆夏休み終了後に「ちょボラカード」を提出して頂き、どのようなボランティア活動に取り組んだかをまとめました。提出数は 169 名でした。

ちょボラ内容	人数	延べ回数
①地域の人にあいさつ(声かけ)ができた	141	1992
②お年寄りの話し相手になった	51	187
③困っている人に声をかけた	14	46
④まちをきれいにする活動をした	85	326
⑤電車やバスで席をゆずった	10	18
⑥家族と一緒に地域の行事に参加した	74	164
⑦小さな子どもと遊んだ、世話をした	76	386
⑧こんなこと()をして喜ばれた	16	38
⑨その他	36	176

◆⑧こんなこと()、⑨その他のボランティアの紹介。

- ・重たそうな荷物を代わりに持った。
- ・ベルマークを集めた。
- ・エレベーターのボタンが押しにくそうな方を手伝った。

たくさんシールをはって
くれてありがとう☆



◆下の表に、「ちょボラ内容」①～⑨の番号と()の内容を記入して下さい。※ただし、家のお手伝いはのぞきます。

月	日	曜日	ちょボラ内容	シール	月	日	曜日	ちょボラ内容	シール	月	日	曜日	ちょボラ内容	シール	月	日	曜日	ちょボラ内容	シール
例			④公園の草取り		7	30	火	あいさつ ①をしました。		8	10	土	あいさつ ①をしました。		8	21	水	あいさつを ①しました。	
	20	土	あいさつを ①しました。		7	31	水	あいさつ ①をしました。			11	日				22	木	あいさつを ①しました。	
	21	日	あいさつ ①をしました。			1	木	あいさつ ①をしました。			12	月	あいさつ ①をしました。			23	金	あいさつを ①しました。	
	22	月	あいさつ ①をしました。			2	金	あいさつ ①をしました。			13	火	あいさつ ①をしました。			24	土	あいさつを ①しました。	
	23	火	お年寄りの ②話し相手			3	土	行事に ④参加した。			14	水	お年寄りの ②話し相手			25	日	あいさつを ①しました。	
7	24	水	あいさつ ①をしました。		8	4	日	あいさつ ①をしました。			15	木	あいさつを ①しました。			26	月	あいさつを ①しました。	
	25	木	あいさつ ①をしました。			5	月	あいさつ ①をしました。			16	金	あいさつを ①しました。			27	火	あいさつを ①しました。	
	26	金	あいさつ ①をしました。			6	火	あいさつ ①をしました。			17	土	あいさつを ①しました。			28	水	あいさつを ①しました。	
	27	土	あいさつ ①をしました。			7	水	お年寄りの ②話し相手			18	日	あいさつ ①をしました。			29	木	お年寄りの話し ②相手	
	28	日	草とり ④			8	木	あいさつ ①をしました。			19	月	あいさつ ①をしました。			30	金		
	29	月	あいさつ ①をしました。			9	金	あいさつ ①をしました。			20	火	あいさつを ①しました。 ④いかにした。			31	土	あいさつを ①しました。	

「ちょボラ内容」
①地域の人にあいさつ(声かけ)ができた。
②お年寄りの話し相手になった。

③困っている人に声をかけた。
④まちをきれいにする活動をした。
⑤電車やバスで席をゆずった。

⑥家族と一緒に地域の行事()に参加した。
⑦小さな子どもと遊んだ、世話をした。
⑧こんなこと()をして喜ばれた。

⑨その他()

提出いただいた
カードの一例

◆取り組んだ児童の声(ちょボラをしてみて思ったことや、感じたこと)



去年よりあいさつや困っているひとに声をかけたり、小さい子の面倒を見たりするのがちょっと増えました。これからもやってみます。(2年生 女子)

ちょボラをしたら「ありがとう」と言ってもらえて嬉しかったので、これからもちょボラをしようと思いました。(5年生 女子)

4年生の時からちょボラを始めて、前よりもたくさんのちょボラができたのでよかったです。これからも続けていきたいです。(6年生 女子)

ちょっとしたボランティアでみんなに笑顔が出てくるので、ちょっとしたことでもいいので、たくさんボランティアができればいいなと思います。(5年生 女子)

少しでも何かをすれば町のためになるということがよく分かりました。これからも続けていきたいです。(6年生 女子)

地域の人にすすんであいさつをすることができました。ぼくがあいさつをしたら、地域の人はいつも返してくれるので、あいさつしてよかったと思いました。(6年生 男子)

色々なあいさつ、地域の手伝いができてすごく良かったです。(6年生 男子)

少ししかできなかったけど、ボランティアは大切なことだと思いました。(5年生 男子)

ちょボラはみんなをやさしくするんだな、と思いました。これからも続けたいです(3年生 男子)

毎日ラジオ体操に行く前にごみ拾いをしました。毎日ごみが落ちていたので、気がついたら拾うようにしたいです。(3年生 女子)

いい事(ちょっとしたボランティア)をたくさん毎日できて、した自分も、相手もどちらも笑顔になれました。これからも続けます。(4年生 女子)



◆家族の方の声

(「ちょボラ」に取り組む子どもたちの姿を見たり、子どもの感想を読んだ家族の方より)



毎朝「今日は何をしたらいいかなあ…」と考えて取り組んでいました。自分で考えるのは難しかったようですが、何かをしようと前向きに考えている姿を見ると、去年より成長したように感じられます。

“ちょボラ”は特に難しい内容ではないので、自分でも無理なくボランティアできていたようでした。特に小さい子供の面倒はよく見ていました。これからも小さな思いやりを持っていける子になってくれたらなあと思っています。

あいさつが日頃からできているようで、近所の方からほめてもらうことがあります。親もまずはあいさつが大切だと思っているので、これからも元気な一声で、みんなが和めばいいと考えています。

自分からすすんで人の嫌がることでもできたり、人のために何かをする、他の人に喜んでもらうことができるということはとても大切だと思います。ボランティアと意識せず普段から自然とできる人になれたらいいですね。

ちょボラが本当に身近でこの小学校、町にあふれたらよいなといつも思います。小さな積み重ねで大きな優しい心が生まれる。ちょボラ本当に素敵です。みんなに笑顔が出てくるようにちょボラを毎日続けてくれたらと思います。ちょボラの花を満開に。

いつも弟よりもラジオ体操から帰ってくるのが遅いと思っていたら、集会所の草取りをしていたようでした。自分で気づいて続けたのはえらいと思います。

ちょっとした一言、行動でみんなが優しく笑顔になれることは素敵だと思いました。続けていきたいと思っています。

地域の活動(ごみ拾い)に参加したり、地域の人に進んであいさつができ、大変いい活動ができました。特にあいさつはすごく良かったです。

なるべく地域の行事には参加して色々な体験をしてもらいたいと思います。近所の人たちともちゃんと挨拶してコミュニケーションが取れているように思います。



◎編集後記

私にもできること運動(ちょボラ)も今年で3年目になります。中には一昨年から取り組んでいる人もいて、すっかり慣れてきているのではないのでしょうか。

今年のちょボラカードには、お父さんやお母さんの職場でちょボラに取り組んだということや、毎朝ラジオ体操の帰りに草取りや、ごみ拾いを心がけたと書かれていて、積極的にちょボラに取り組んだ様子がかうかがえました。

中にはあまりちょボラができなかったという人もいましたが、登下校中のあいさつや、ごみ拾いなど、夏休みでなくてもできるちょボラはたくさんありますので、これからも自分にできる“ちょボラ”を心がけていただけたらと思います。

この度は、「私にもできること運動」にご協力いただき、ありがとうございました。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

Aプランは、死亡1,200万円、入院6,500円、通院4,000円、賠償責任5億円(限度額)を補償

全国180万人
加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険



特徴は

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償!
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償!
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償!
- 地震など天災によるケガも補償(天災タイプご加入の場合)

年間	基本タイプ	Aプラン...	300円	Bプラン...	450円
保険料	天災タイプ	Aプラン...	460円	Bプラン...	690円

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、最寄りの社協にお問い合わせください。

ボランティア行幸用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

お申込み、お問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
受付時間:平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

(引受幹事保険会社) 日本興亜損害保険株式会社